

## 第38回すわ大昔フォーラムの開催について

諏訪市博物館では6月9日(日)に、第38回すわ大昔フォーラムを開催します。

- 1 日時 令和6年6月9日(日) 午後1時30分～午後3時30分
- 2 会場 諏訪市博物館 学習室
- 3 演題 『諏訪市荒神山遺跡・炭化種子発見50年!! 縄文中期農耕論の実証へ』
- 4 講師 岡田 正彦 先生(南信州文化財の会 会長)
- 5 内容 縄文時代の生業は長らく「狩猟・採集」とされてきましたが、在野の考古学者 藤森栄一は戦後まもなく「縄文農耕論」を提唱しました。しかし、学界は確実な証拠=栽培植物そのものの提出をと、冷淡ともいえる反応でした。  
ところが、藤森が亡くなった翌年の昭和49年、中央道建設に先立つ荒神山遺跡の発掘調査で栽培種の可能性がある炭化種子が発見され、縄文農耕論とともに大きく注目されました。  
種子発見から50年の機会に、発掘担当で発見者でもある岡田正彦先生に当時の様子や感動などを振り返りながらお話しいただきます。
- 6 申込み 5月28日(火)から受付  
電話・メール・ながの電子申請サービス の各種方法で申込み  
電話 0266-52-7080 メール suwamu@city.suwa.lg.jp  
(電話受付は休館日を除く 午前9時から午後5時)
- 7 定員 40人(先着順 定員に達し次第、申込受付は終了します。)
- 8 料金 入館料が必要です(一般310円)
- 9 その他 申込み状況など最新情報は博物館のホームページをご覧ください。



電子申請

郷土史や考古学を調べたい・学びたいお客様、  
すわ大昔情報センターをご利用ください。



〒392-0015 長野県諏訪市中洲 171-2  
諏訪市博物館  
(教育委員会事務局生涯学習課博物館)  
館長 土田 担当 児玉  
電話 0266-52-7080  
FAX 0266-52-6990  
メール suwamu@city.suwa.lg.jp

博物館 HP ⇒ <https://suwacitymuseum.jp>  
諏訪市 HP ⇒ <https://www.city.suwa.lg.jp>



## 諏訪市荒神山遺跡・炭化種子発見50年！！

# 「縄文中期農耕論の実証へ」

縄文時代の生業は狩猟・採集と、ながらく誰しも疑うことはしませんでした。しかし、中部高地に咲いた素晴らしい縄文文化が、そのような生活の中で生み出したのか。疑問を挟んだ藤森栄一は戦後まもなく「縄文農耕論」を提唱しました。集落の規模や土器の用途、石器の使い方など、考古資料を駆使してこの考えを深め、進めてゆきました。

しかし学界は、確実な証拠＝栽培植物そのものの提出をと、冷淡ともいえる反応でした。植物の遺存などには、とても期待を持てぬ難題でした。藤森は昭和48年12月帰らぬ人になりました。ところが翌年、荒神山遺跡から栽培種の可能性がある炭化種子が発見されて、俄然、縄文農耕論は色めいたのです。



70号住居跡炭化種子(部分)

今年は、それからちょうど半世紀。当時の様子・感動興奮を、発見者・岡田正彦先生に振り返って、伝えていただきたいと思います。

◇日時： 2024年6月9日(日) 13:30～15:30

◇会場： 諏訪市博物館 学習室 (諏訪市中洲171-2)

◇講師： 岡田 正彦先生

高校の教員を勤めながら、中央道の遺跡調査にあたり、荒神山遺跡の調査を担当し、栽培種の可能性がある炭化種子を発見しました。現役を退かれたのち現在も、「南信州文化財の会」の会長を務めるなど、歴史研究や文化財の保護に、強い情熱は衰えることなく、活躍されています。

◆参加料 入館料(一般310円) ◆定員 **先着40名** 事前申込み制

◆申込受付 **5月28日(火)から** 電話・メール・ながの電子申請にて受付開始

※ 定員に達し次第、受付は終了します

電話：0266-52-7080 受付時間：午前9時～午後5時

メールアドレス：suwamu@city.suwa.lg.jp

ながの電子申請サービス：右のQRコードから



電子申請